

# WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD  
 世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、  
 そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ  
 ~我がクラブの志と共に~

第16回(通算1630回)例会報告	令和5年11月5日(日)	地区補助金事業例会
ゲスト	米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん	
ビジター	豊橋北RC: 6名、豊橋南RC: 1名	
出席報告	総会員数57名(計算会員45名) 欠席12名 出席率73.33% 前々回修正出席率84.62%	
歌/会場	会場: 豊橋総合動植物公園 14:45~	

## 会長の時間



山本雅久会長

皆さんこんにちは、本日は絶滅危惧種の動物たちを対称に作成されてレプリカを使い動物たちの特徴を理解していただく勉強の場を開催いたします。地区補助金を利用して計画しました。子供たちが多くを学びこれからの時代を自然を大切にされる事を願い本日の目標としてしたいと思います。50名の子供たちがたくさんの方を学ばれることを願っています、この場の設営から準備、あとかたづけまでお世話いただいた社会奉仕委員長石原委員長はじめ多くの協力者の方々に感謝申し上げます。有難う御座いました。

## 委員長挨拶

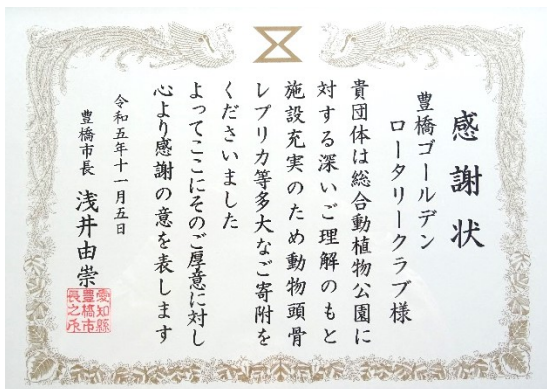


石原聖季社会奉仕委員長

11月5日(日)に豊橋ゴールデンRC主催で豊橋総合動植物公園において絶滅危惧種の動物たちをテーマにした特別講座が行われました。動物の頭骨には目の位置や歯の形などの特徴があり、なぜそうなったのか理由があります。その食生活や生息地域の環境を知ることによって動物がなぜ絶滅危惧種になっているのかを知ることができます。今回、この講座により絶滅危惧種であるライオン・レッサーパンダ・チンパンジーの頭骨レプリカや3D印刷で作成したコウノトリの頭骨、講座で使用したパネルなどが豊橋ゴールデンRCから豊橋総合動植物公園に寄贈されました。その機材を使った最初の授業が行われ、豊橋市内から約50名の小学生が参加しました。当日はレクレーションとして「ミッション エン パッシブル」という動物園の可能性を広げるミッションが子ども達に出され、絶滅危惧種の動物の頭骨が実際にどの動物のものなのか動物園内から探し出しました。その後、飼育員さんによる特別授業が開催されました。まずは絶滅危惧種の動物の頭骨からその動物の特徴や生態に迫ることができました。また、絶滅危惧種である動物たちがどのような環境に置かれているのか知ることができました。最後に飼育員さんから子ども達に「皆さんにできることは何ですか?」という問いかけがありました。

参加した児童からは「レッサーパンダの住む竹林を伐採して、工場を建てないようにしないといけない」「別のところに竹林を作ってレッサーパンダが住めるところをつくる」「密猟などでライオンが少なくなっていることをまずはみんなが知ることが大切」「国際協力によって、このような動物たちが少なくならないようにする」などたくさんの意見が出ました。飼育員さんからは「環境を守ろうと努力している企業や農家さんも身近にあります。その取り組みを応援していくことも一つの方法です。」とお話がありました。

絶滅危惧種の動物を飼育する動物園が環境の大切さを未来を担う子ども達に伝え、考えさせる授業。その小さくも大きな一歩が行われた特別授業でした。これきっかけにいろいろなところで開催が期待されます。

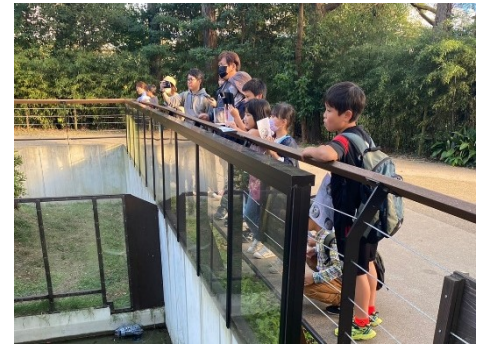


## 米山奨学金贈呈

米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん



地区補助金事業 「とよはし絶滅動物園 来て見て触って 動物の未来を考えよう！」



★他クラブの例会変更

■11月14日(火) 宝 飯 RC 秋の行楽(サシ無)  
豊橋北 RC クラブフォーラム

■11月14日(火) 田原パ RC 職場見学例会(サシ無)  
■11月21日(火) 豊橋北 RC 地区補助金事業